



PTA活動について思うこと

PTA会長

日頃よりPTA活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。私たちの毎日は、日々の送迎や体調管理、家庭でのケアなど、本当にやることが多くて、あっという間に一日が過ぎていきます。子どもと向き合っているからこそ、誰もが必死にがんばっていることと思います。

そんな毎日だからこそ、学校のPTAは、それぞれに迷いやつまずきを抱えながらも、声になりきらない小さな思いを受け止め、互いに少しずつ関わり続けられる場でありたいと考えています。保護者と学校、そして社会の橋渡しをすることで孤立を防ぎ、みんなの声を社会へとつないでいく。そんな、お互いの心が少し軽くなる「つながり」の場を作ることこそが、私たちの学校のPTAにとって一番大切な役割だと思っています。

子どもたちの成長をすぐ近くで見守る保護者同士、いつでも気軽に助け合える関係でいられたら嬉しく思います。皆様の声を大切にしながら、誰もがホッとできる温かい組織を形にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

入学して思うこと

中1 保護者

入学して早くも2ヶ月が過ぎました。

当初は大きなリュックを背負い、日進駅から学校までどこかおぼつかない足取りで通っていましたが、日を追うごとにその足取りも力強くなり少しずつ学校生活にも慣れてきたように感じております。

他の生徒さんや保護者の皆様のお顔も少しずつ覚え、自分から挨拶をする姿も多く見られるようになりました。

また、教職員の皆様が日頃より子どもたち一人ひとりに寄り添い、温かくご指導くださっていることに深く感謝しております。娘がこのような恵まれた環境で安心して学校生活を送ることができているのも、先生方のおかげだと感じております。

これからの学校生活では、失敗を恐れずさまざまなことに挑戦し、多くの経験を重ねながら笑顔あふれる思い出をたくさんつくってほしいと願っています。